



# 飯田市立病院ニュース

飯田市立病院・高松分院広報

編集・発行／飯田市立病院広報編集委員会 〒395-8502 長野県飯田市八幡町438番地  
TEL●飯田(0265)21-1255(代) FAX●飯田(0265)21-1266 http://www.imh.iida.nagano.jp/

## 年頭所感

飯田市立病院長

宮川 信



新年明けましておめでと  
うございます。平成十五年  
として新たな年を迎えるに  
あたり、一言ごあいさつ申  
し上げます。

昨年は、北朝鮮拉致犠牲  
者の一部帰国という歴史的  
出来事や、ノーベル賞のダ  
ブル受賞といった明るい話  
題もありましたが、変わら  
ぬ不況の下、社会・経済面  
では大変な一年であったと  
感じております。

医療界を取り巻く環境も  
厳しさを増し、今まで経験  
したことのない診療報酬の  
引き下げなどに直面し、そ  
の対応に困惑する場面も多  
く見受けられました。

当院では、病院の健全経  
営に努め、病院の利益は患

者さまに還元されるもので  
あるとの考えのもとに、医  
療現場での取り組みをして  
まいりましたが、更なる努  
力と工夫の必要性を痛感い  
たしております。

このような中で、昨年三  
月には、皆様方のご協力に  
より、飯田市立病院開設五  
十周年の記念事業が盛大に  
実施できましたことは大変  
うれしく思っております。

さて、ここで本年の飯田  
市立病院の進むべき方向を  
二つの部門で示しながら、  
具体的事業について述べ所  
感したいと思います。

まず、第一点目として、  
医療の質を向上させるため  
の事業を継続的に進めます。

具体的には、昨年より取  
り組み始めた電子カルテシ  
ステムを完成し、医療行為  
そのものの質の向上を目指  
すとともに、セクションを  
超えて活用できるツールと  
して、完成度の高い運用を  
します。

あわせて、民間の第三者  
による機能評価の認定に向  
けて、実態に踏み込んだ改  
善活動も行います。

また、臨床研修指定病院  
としての機能充実や、医療  
事故対策委員会の活性化も  
この部門での大切な要素と  
考えております。

医療サービスの改善とし  
て昨年より取り組んでいる  
民間の改善手法である、Q  
C活動も、充実発展させる  
予定です。

二つ目としては、具体的  
な経営方針のもとで、安定  
した収支を保つ事業を進め  
ます。

医療機関の区分けが進め  
られる中、急性期病床に対  
応するため、組織的な病診  
連携と、診療報酬改定に即  
応した体制の整備を図りな  
がら、移転開業以来蓄積し  
てきた人的資源や、高度医  
療資産を高い次元で活用し  
て行きます。

特に、救急救命医療の本  
格的始動に向けて体制の強  
化を図りながら、地域医療  
支援病院の認可も視野に入  
れた取り組みを行います。

山積する課題は多くあり  
ますが、智恵と努力により  
公立病院の使命を果たした  
いと考えております。

### ● 紙面が新しくなりました ●

#### 注目記事：病院のうごき

電子カルテシステム導入に向けて…基本構想から開発段階へ

#### 特集：話題の広場

活躍するヘリポート

国際基準・夜間照明設備を備えた本格ヘリポートに迫る

本邦第1例目のICAO▶  
基準病院ヘリポート  
を備えた現在の病院



# お知らせ 病院のうごき

## 電子カルテシステム 基本構想から開発へ

医療のIT化を推進するために、平成十三年十二月に厚生労働省から「保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン」が公表されました。その中で「平成十六年度までに全国の二次医療圏毎に少なくとも一施設は電子カルテの普及を図る」と示されています。

当院でもIT化の一環として「オーダーリングシステム」、「画像ファイリングシステム」を導入しました。そして、

いよいよ医療情報の中核である「電子カルテシステム」を導入します。

カルテを電子化することのメリットは、カルテ情報の有効活用と、業務の効率化にあります。患者さまのカルテ情報を電子化して一元管理を行うことで、現在の紙カルテに比べ、カルテ情報を患者さまや様々な職種の職員で共有しやすくなり、医療の質の向上、安全性の向上、効率化に貢献します。更に、蓄積された情報の検索や抽出が容易になり、

研究や分析に使用することで、疾病の治療や予防に役立てることも可能です。

しかしながら、電子カルテを効率よく利用するためには、ルール作りが必要になります。たとえば、病名、カルテの記載形式などの標準化を進める必要があります。また、現在の業務スタイルが電子カルテを前提とした効率的なものに改革されることも重要です。

## 病院機能評価の目指すもの

進行する医療制度改革の中で、開かれた医療が求められています。

診療録の患者さまへの開示に代表されるとおり、今や病院は見られて困るものを覆い隠すことのできる時代ではありません。また、厳しい環境と制度改革が続く中で、将来展望を拓くためには、地域で真に必要なされる病院となって、住民の信頼を勝ち得なければなりません。

## 病院システムにおける電子カルテの意義



現在、導入すべき「電子カルテシステム」の基本構想の策定を終了しました。今年度中に、基本構想から電子カルテシステムに必要な機能を決め、その後、設計、開発を経て運用を行う予定です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

備が行われているか。②として、担っている役割が医療の実績と整合性のあるものかを検討することになります。

飯田市立病院では、平成十七年一月に機能評価の再受審の予定です。前回の受審と比べて項目が百から五百と増え、大変な作業となることとが予想されますが、病院全体で努力し、実現したいと思っています。

【庶務課長】  
第三者の目から病院の評価を受けます

財団法人 JQC H 日本医療機能評価機構

これらを実現するためにも、病院という組織の機能を医療専門職である第三者に評価してもらおう意義は大きなものです。

この医療機能評価は、医療施設がその役割を果たす能力があるか（たとえば患者に対して）、地域住民のニーズに最適に対応しているか、言いかえれば①として病院が標榜している役割を実現するために必要な人的、物的資源の獲得、体制の整

## 充実した健康づくり 教室を目指して

### 高松分院

高松分院では、月一回の健康教室を開催しています。参加者の要望にお応えして、平日の午後に開いたり、土曜日の夜に開いたりしており、内容も病気のこと、リハビリに関すること、薬の飲み方や食事のとり方に関することなどで、健康生活を送

【高松分院 教育広報委員会】

一月 動脈硬化について  
—薬について—  
二月、四月 「骨(骨粗しょう症)」をテーマに三か月連続での開催予定です。

ついでいただくための内容を、幅広く盛り込んで実施しています。

今後の日程は次のとおりです。お問合せの上、お気軽にご参加ください。

## 清潔と快適さの提供 トイレの洋式化と 洗浄機能の充実へ

トイレの洋式化と洗浄機能の整備は、平成十二年度の三階西病棟を手始めに実施してきています。

本年度の施設整備では、三階東病棟の改修をします。工事期間中はご不便をおかけしますが、ご理解いただきますと思います。

今後、患者さまに快適に利用いただくための重点整備として、一年に一病棟ずつトイレ改修をする予定です。

【庶務課施設】

## 宮川院長・厚生労働大臣表彰 松下副院長・国診協議会長表彰 の栄に輝く

医療における長年の実績とご功勞により、昨年、宮川院長が厚生労働大臣表彰を、松下副院長が国診協議会長表彰をそれぞれ受賞いたしました。10月末には市長・助役をはじめ、多くの出席者のもと、両先生の記念祝賀会が行われ、今までのご功勞に感謝いたすとともに、当院の牽引者としての、ますますのご活躍を祈念いたしました。



## 3月より院内感染防止対策 新マニュアルへ!

【柳川宗平】

平成15年3月より当院の院内感染防止対策マニュアルが全面的に改訂されて施行されます。

これまでの感染対策マニュアルは、「結核対策」「MRSA対策」「HIV対策」など、感染性病原体ごとに作成され、改訂を繰り返してきましたが、新マニュアルでは標準予防策（スタンダード・プレコーション）の思想に基づき、推奨される感染防止策を感染経路別に記しました。改訂後の施行を前に、院内感染防止対策委員会のマニュアル改訂プロジェクト委員による説明会を兼ねた感染防止講演会を2月中（期日未定）に開催します。新マニュアルは業務系イントラネットでも参照することができます。

## 話題の広場



## 特集

### ヘリポート利用記録

12年度計		13年度計		14年度	
通算月	搬送	性	病名	輸送ルート	
35	搬入	女	左大腿創 他	売木村→当院	
36	搬出	男	右被殻出血 他	当院→浜松西部医センター	
37	4	搬入	男 多発外傷	伊賀良笠松山→当院	
38	搬出	男	急性心筋梗塞	当院→信大附属病院	
39	搬出	女	切迫早産	当院→県立こども病院	
40	5	搬入	男 狭心症、不整脈	大鹿村→当院	
41	搬入	男	頸椎損傷、両肺挫傷	阿智村→当院	
42	6	搬入	男 意識障害、痙攣	風越山→当院	
43	搬入	男	右上腕骨開放骨折	向方地区グラウンド→当院	
44	7	搬入	男 左脛骨、左腓骨骨折	阿南町→当院	
45	搬送	男	下痢、腹痛	南信濃村→健和会病院	
46	搬入	男	電撃症	大鹿村→当院	
47	搬入	女	電撃症		
48	搬入	男	電撃症		
49	8	搬入	男 電撃症、急性腎不全		
50	搬入	女	電撃症	大鹿村→当院	
51	搬入	男	上下顎骨骨折 他		
52	搬入	女	腰痛	大鹿村→当院	
53	搬入	男	顔面外傷	シラビノ高原→当院	
54	搬入	女	頭部外傷 他	大鹿村→当院	
55	10	搬入	男 右肘開放骨折		
56	搬入	男	意識消失	根羽村→当院	
57	搬入	男	腹部大動脈瘤破裂	伊那中央病院→当院	
58	搬入	女	左多発肋骨骨折 他	シラビノ高原→当院	
59	搬入	女	腰椎圧迫骨折(L2)		
60	搬入	男	両側多発肋骨骨折 他		
61	11	搬入	女 両下肢多発骨折 他	当院→信大附属病院	
62	搬出	女	劇症肝炎		
63	搬入	男	狭心症	昭和伊南病院→当院	
64	搬入	男	意識消失	大鹿村→当院	
65	搬入	女	心不全	大鹿村→当院	
66	搬入	女	小脳出血	大鹿村→当院	
67	12	搬出	男 脳腫瘍、脳ヘルニア	当院→信大附属病院	
68	搬入	女	心室性頻拍、心筋梗塞	天龍村→当院	

14年度計 12/20現在 34件

### 活躍するヘリポート

当院では、ヘリコプターの機動性を十分に発揮できるように、平成12年に新しいヘリポートを設置しました。病院東側に新設されたヘリポートは、夜間照明を備えた24時間離着陸可能の、国際基準（ICAO）に基づき災害拠点病院にふさわしい設備となっています。

### 救急医療委員会より

ヘリにより搬送時間が1/5へ短縮

現在、飯田市・下伊那11町村を中心にヘリ搬送対象地域が指定されています。ヘリ搬送の利点は、対象地域からの患者搬送時間が救急車の47分から9分へ、1/5に短縮され、搬送中の患者安静度が格段に向上する点です。

課題は、松本基地から当医療圏まで30分もかかることです。現場到着時間短縮のため、東海大地震、伊那谷活断層地震の危険地域でもある南信へのヘリ配備が望まれます。

医師と看護師がヘリに乗って救急現場に駆けつける日も、そう遠くないでしょう。

【神頭定彦】

夜間の患者搬送▶



搬送訓練

## 保険証類の提示を お忘れなく

月一回は、保険証・受給資格者証の提示をお願いします。

保険診療は、病院の窓口到现在加入中の保険証等を提示することによって受けられます。資格確認のため、初診の診察を受ける方、継続受診中の方は月に一回、必ず窓口での確認を受けるようにお願いします。

なお、資格や内容等に変更があった場合は早めに窓口への提示をお願いします。



【医事課】

## 冬季の除雪対策について 凍結時には足元にご注意を

昨年末の非常に早い降雪に象徴されるとおり、今季の雪は平年に比べて多いという予報が出ています。

当院では、降雪・凍結時等に除雪や融雪対策を行い、救急患者さんの受け入れや、ご来院いただく皆様の安全確保に努めておりますが、早朝や夕方などにおいて非常に滑りやすい状況もあるかと思っております。特にご注意ください。

また、ご来院目的以外の駐車は、利用者の方の大きな妨げとなりますのでご注意ください。

【庶務課】

## 検査などで不明なものは お気軽におたずねください

放射線技術科にはMRI・CT・核医学・血管撮影等各種撮影機器があります。また、臨床検査科では紹介された患者さんに対して、

検体・細菌・生理（脳波・心エコー・AABR等）・病理・遺伝子検査等を実施しています。内容についてご不明なものや、不安に思われるものは受診時におたずねください。

【診療技術部】

## 分院・療養病棟は 冬季のご利用が 混雑いたします

### 高松分院

高松分院の療養病棟は、介護型と医療型があり、次のような方にご利用いただけます。

- ① 慢性疾患で、入院による療養が必要な方。
- ② 社会復帰や日常生活動作の向上のためなどでリハビリテーションが必要な方。
- ③ 家庭での療養が困難な方。

ご利用のお申し込みが冬季に集中するため、一部ご迷惑をおかけいたしますが、「おたつしや窓口」までご相談ください。

【高松分院・おたつしや窓口】

## シリーズ

# 患者会

その1



## 透析患者会の活動

林 寿子

「やまびこ会」は、人工透析を受けている患者会です。発足してから15年になりますが、年々会員数が減少し、現在は37名です。

主な活動としては、透析に関する情報を会員にお知らせすることなどですが、その他に年2回ほど親睦会を行っております。

また、病院のスタッフの方々に協力していただき、10月には「全国・斉臓器移植キャンペーン」も行います。

会員の年代も30代から80代まで幅広く、大変な面も多いのですが、互いに協力しながら活動を続けております。

昨年の4月からの医療改革に伴い、透析患者にも影響が出ており、これから先どうなっていくのかという不安を抱えておりますので、病院スタッフの方や先生と密な関係を保ちながら対処していきたいと思っております。

個人で病氣と闘って行くことは大変ですが、少しでも明るく生きるために「やまびこ会」の役割も大きいと思っております。



## 新任医師の紹介

平成十四年十月十二日



耳鼻咽喉科  
伊沢 真奈美  
平成12年卒業

平成14年10月1日着任  
前勤務病院：信州大学医学部附属病院



高松分院・内科  
のりあき 憲昭  
ふくおか 福岡  
昭和57年卒業

平成14年10月28日着任  
前勤務病院：飯網病院

## 編集後記

昨年はサッカーのワールドカップに日本中が大フィーバーし、またノーベル賞のダブル受賞、北朝鮮の拉致犠牲者帰国問題など激動の世の中でしたが、さて今年はどうのようかな年になるのでしょうか？

二〇〇三年の幕開けとともに、今回より飯田市立病院広報誌（病院ニュース）が大幅に刷新されページ数もふえました。今までもおり年四回の発行予定ですが、みなさまに愛されるように内容の濃い広報誌作りに励みたいと思っておりますので、よろしくご愛読のほどをお願いいたします。

【委員会代表・診療部 千賀脩】